

2026. 7. 31



山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。
読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 →



★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和8年8月4日（火）9月1日（火）11：00～11：20

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょしつ 3F） ○対象：幼児 ○定員：10組程度

★令和8年度「学校図書館セミナー【第2回】」

○日時：令和8年11月12日（木）14：00～16：00

○方法：オンライン Zoom

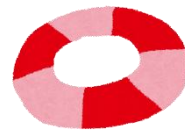
○講師：飯田 一史 氏（出版ジャーナリスト、ライター）

○内容：講義 「10代の読書 データから見る実態と、よく読まれている本」

○対象：司書教諭、学校図書館担当教諭、学校司書、研修内容に関心のある教諭、学校図書館担当事務職員、教育委員会指導主事、公立図書館職員 等

○参加費：無料 ○申込方法：11月5日（木）17：00までに、電子申請 （HPの要項をご覧ください。）

https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center_annai/center_annai-28672/



【新刊紹介】価格は消費税抜き

<絵本—乳幼児から>

『あまがえる』 こがようこ/文・絵 大日本図書 2026.5 ¥1400

いっぴきのあまがえるが「ケロッ」。ピョーンととんで、もういっぴきのあまがえると「ケ ケロッ」。どんどんあまがふえ、みんなで「ケロ コロ ゲコゲコ ボーボーボー」とだいがっしょう。やがて、いっぴきのあたまにしずくがおちたかとおもうと、ザーっとあめがふってきて…。オノマトペのみのシンプルな文章が、かえるたちの生き生きとした姿を引き立てる楽しい絵本。

<絵本—3, 4歳から>

『おならはえらい』 まど・みちお/詩 岡本よしろう/絵 ほるぷ出版 2026.5 ¥1500

おならのおとは、どこのだれにでもわかる「こんにちは」で「さようなら」。きちんとあいさつするおならは、まったくえらい…。山口県出身の詩人まど・みちおの同タイトルの詩を、同じく山口県出身の画家が絵本化。力強い筆致で、詩の根底にあるおならかなまなざしを描き出す。まど・みちお本人と思われる人物も作中に登場する、遊び心に満ちた1冊。巻末に詩の全文掲載あり。

<絵本—5, 6歳から>

『バナナでんわででんわをしたら』 ギデオ・ステラー/文 エミリー・ヒューズ/絵 ふしみみさを/訳 ひさかたチャイルド 2026.5 ¥1500

バナナでんわは、ジャングルのおくでくらすゴリラとつながるでんわ。きみがバナナをみみにあてて「もしもし?」といえば、ゴリラはびっくりして「おまえ、だれ?」ときいてくるはず。まずはなまえをつたえて、それからいろんなお話をしてみよう。おたがいのことをして、ゴリラとどんだんなかよくなっていけば、きっとすごいことがおこるよ。豊かな空想の世界で遊ぶ絵本。

<絵本—小学校低学年から>

『あおむしがきらいな王子さま』 ホアン・イーウェン/作 中村加代子/訳 月とコンパス 2026.5 ¥1800

ある王国の王子さまはもうすぐ8さい。あおむしがきらいな王子さまは、おいおいにねがいをかなえてくれるという王さまに「王国から緑のものをけして」とたのむ。たんじょうびパーティーのあと、すっかり緑がきえたすばらしい王国を見にでかけた王子さまは、ひとりぼっちの女の子とであい…。白色テロの時代への反省を背景に、本当のすばらしい国とは何かを問う台湾発の絵本。

<絵本—小学校中学年から>

『希望を運んだ図書館 馬に乗って本をとどけた女性たち』 ローレン・H. カースティン/作 ベッカ・スタッドランダー/絵 中井はるの/訳 くもん出版 2026.5 ¥1600

アメリカでたくさんの人が仕事を失った暗い時代。ケンタッキー州では、遠いところに住む人びとへ、馬に乗って本をとどける仕事を作られた。図書館員となった女性たちが根気強くとどけたのは、知識や物語だけではなく…。大恐慌時代に実際に行われた取り組みを伝えるノンフィクション絵本。巻末には「騎馬図書館計画」の解説とともに、当時の活動の様子を撮影した写真も掲載。

<読み物ー小学校低学年から>

『いいたいことがあります!』 工藤純子/作 武田美穂/絵 金の星社 2026.5 ¥1400

1年生のりんは、言いたいことが言えずにだまってしまう女の子。同じクラスで学童でも同じ班のひろきは、りんと反対で言いたい放題。学童でおやつを作る日、「サンドイッチはおやつじゃない。」とかたくなに言い張るひろきを少しだけうらやましく思うりんだが、思わぬ出来事が起きて…。声に出して本当の気持ちを伝えることの大切さを描く物語。

<読み物ー小学校中学年から>

『ブレイキン! ダンスでつながるぼくら』 あさだりん/作 ゆうこ/絵 文研出版 2026.5 ¥1400

4年生の転校生でダンスが好きなジョーは、ブレイキン教室で出会った同じ年のケイトと意気投合する。ある日、ジョーはアメリカから来た女の子リズと出会うが、リズの得意気な態度にいら立ち、ふと口にした言葉でケイトを傷つけてしまう。ついに三人はダンスバトルで対戦することになり…。ダンスを通して、家族や友達との絆を深めていく物語。

<読み物ー小学校高学年から>

『夏の迷子』 村上しいこ/作 フレーベル館 2026.5 ¥1500

父親の顔も名前も知らない5年生の純成は、父親に会いたい気持ちを誰にも言えずにいた。転校生の女子みことも両親が離婚し、未来のことを話せる友達がほしいと願っていた。互いに心の内を打ち明けるが、家庭の事情で二人とも引越すことになり…。親の離婚で悩み、迷いながらも周りの人に支えられて成長する二人の物語。作中で「こどもの権利条約」にも触れられている。

<読み物ー中学生から>

『透明なぼくらのレモンとキス』 神戸遙真/著 偕成社 2026.5 ¥1500

高校1年の男子湊斗は、通学途中で電車内で痴漢に遭う。大したことじゃないと自分に言い聞かせるも電車に乗ろうとすると具合が悪くなり、乗れなくなるが、同学年の男子風は声を掛けられ一緒に通学することに。風は女子の先輩から皆の前で突然キスされ、嫌だった気持ちを言い出せずにいて…。透明化されがちな男性の性被害と心の傷に向き合い、声を上げる少年達の勇気の物語。

<ノンフィクションー小学校低学年から>

『アオウミガメの帰る島 小笠原諸島・父島』 南俊夫/写真・文 文一総合出版 2026.6 ¥2400

多種多様な生き物が暮らす小笠原諸島の父島。本州から南へ約1000kmはなれた父島の海岸に、大海原を泳いでアオウミガメが産卵にやってくる。父島に移住してダイビングガイドを続ける著者が撮影した写真から、砂浜で卵を産む息づかいまで伝わる。生き物の魅力がたっぷり詰まった写真絵本。「命のつながり」シリーズの1冊。アオウミガメの生態を解説するQ&Aも掲載。

<ノンフィクションー小学校中学年から>

『まんが まるやま昆虫研究所 カブトムシ・クワガタのなかまたち』 丸山宗利/文 じゅえき太郎/まんが 小松貴/写真 毎日新聞出版 2026.6 ¥1500

カブトムシやクワガタ、ゲンゴロウなど昆虫の中で最も種類が多い甲虫のなかまを写真や4コマまんがとともに紹介。種ごとに異なる形や行動、暮らし方など、謎だらけの昆虫の世界の魅力を伝える。『毎日小学生新聞』連載を加筆修正・再構成し、単行本化した1冊。同シリーズに『トンボ・バッタ・セミのなかまたち』と『チョウ・ハチ・アリのなかまたち』もあり。

<ノンフィクションー小学校高学年から>

『おいしくって、おもしろい! はじめてキッチン』 榎本美沙/著 Gakken 2026.6 ¥1700

春夏秋冬の季節ごとに旬の食材を使った料理のレシピや行事食などを紹介。子どもが自分で料理を作れるように詳しい作り方を写真とともに掲載し、おいしく作るコツやポイントをわかりやすく紹介。日本の四季にちなんだ風習や文化を知ることでもできる。野菜の切り方やだしのとり方、お米の炊き方など、小学校高学年の家庭科で習う内容について理解を深められる1冊。

<ノンフィクションー中学生から>

『「がんばれない」心で何が起きているか』 外山美樹/著 筑摩書房 2026.6 ¥900

私達は小さい頃から「努力しなさい」と教わるが、努力は時に報われなかったり、がんばりすぎて疲れたり…。教育心理学の専門家が、がんばれなくなる心のしくみや過剰にがんばることのリスクを伝え、柔軟に目標を見直すことや別の道を見つけることの大切さを説く。他人の視線に振り回されず豊かに生きるための「しなやかな努力」の指南書。読書案内あり。ちくまプリマー新書。

<研究書>

『かこさとしの科学絵本 生誕100年記念』 かこさとし・北山太樹・鈴木愛一郎/編著 主婦の友社 2026.5 ¥1800

2026年は、かこの生誕100年にあたる。工学博士でもあったかこは、子どもたちに「科学の面白さ」を届けるために、60作以上の科学絵本を発表した。本書では、「わたしが考えている知識・科学絵本の世界」をはじめ、かこ自身の科学絵本に関するエッセイやあとがき等を集めて、絵本やイラストとともに紹介。国立科学博物館の自然史研究者7名の「かこ作品」解説も掲載。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

